どうなったあなたの 陳情・請願

採択

県道（406号線）さつま町船木から薩摩川内市祁答院町下手区間におけるトンネル建設についての陳情

◎陳情者
県道宮之城～祁答院線トンネル建設促進船木区期成会
会長　邦永英人
船木区区会議員
議長　外越健次

趣旨　本町と薩摩川内市祁答院町を結ぶ最短の県道406号は、急坂曲折で拡幅改良は困難であり、トンネルを建設することで、交流人口の倍増が図られる。

また、姶良方面との経済交流も図られることから、「県道宮之城～祁答院線トンネル建設促進期成会」をさつま町の名によって結成することを要望します。

採択

道路整備の促進及び道路財源の確保等に関する意見書を送付

揮発油税、自動車重量税等の道路特定財源は、道路整備を目的として創設されたものですが、既に一部を一般財源化され、現在、一般財源化を含めた見直しの方向性が報じられています。

さつま町議会としては、道路特定財源が一般財源化されることがないよう、また、道路網の整備が一層図られるよう「道路整備の促進及び道路財源の確保等に関する意見書」を内閣総理大臣ほか関係大臣に送付し、その実現を要請しました。

採択

義務教育費国庫負担制度堅持に関する請願

◎請願者
川薩地区学校事務職員研究協議会
会長　遠嶋春日児

趣旨　義務教育費国庫負担制度の在り方が根本的に見直されれば、地方財政をますます圧迫することは明らかであり、教育の機会均等は保障されず、教育水準を著しく低下させるおそれがあるので、関係機関に要請してください。

意見書

○　請願の趣旨に沿った「義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書」を衆議院議長ほか関係大臣に送付し、その実現を要請しました。

採択

県立北薩病院の医療体制の充実を求める陳情

◎陳情者
県立北薩病院の医療を充実させる会
世話人　原　次夫

趣旨　県立北薩病院は、現在、耳鼻咽喉科は休診、脳神経外科は常勤医師が不在で週3回の外来診療だけとなっており、入院患者の受入や緊急時も含め手術が出来ない状態である。

それぞれの常勤医を最低でも2名以上確保し、外来・入院患者への対応と手術のできる体制を確保することを、鹿児島県知事に要請してください。

意見書

○　陳情の趣旨に沿った「県立北薩病院の医療体制の充実を求める意見書」を鹿児島県知事に送付し、その実現を要請しました。